



- ・インフルエンザの都の定点当たり報告数は21.74で**注意報レベル**が続いています。北区の定点当たり報告数も増加が続いており、注意が必要です。
- ・咽頭結膜熱（プール熱）は東京都全体として**警報レベル**が続いています。

全数報告対象疾患

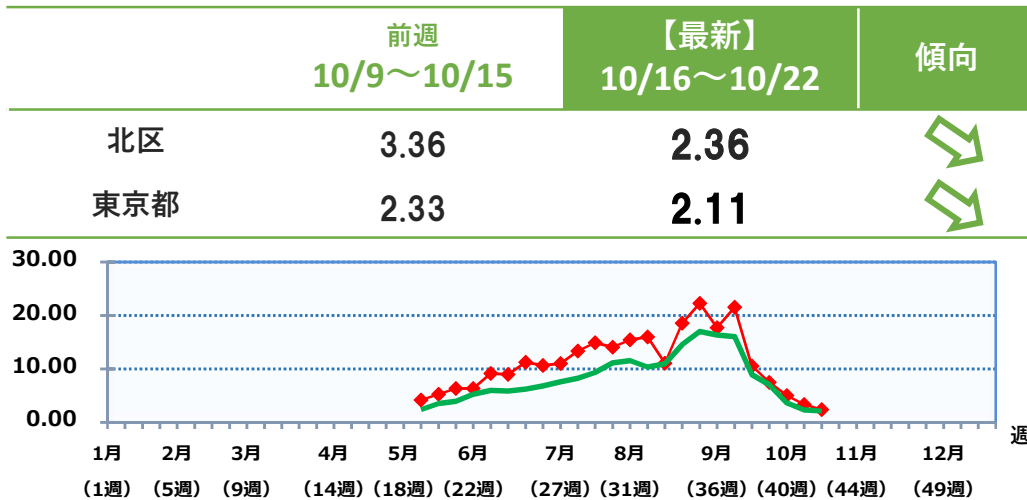
- （三類）腸管出血性大腸菌感染症1件
 - ・（10代女性）血清群はO157、毒素型はVT1VT2、推定感染地・推定感染経路は不明
- （五類）梅毒3件
 - ・（40代 男性）病型は早期Ⅰ期、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触
 - ・（20代 男性）病型は早期Ⅰ期、感染地は国内、感染経路は異性間性的接触
 - ・（60代 男性）病型は早期Ⅱ期、感染地は国内、感染経路は異性間性的接触

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数  2023 北区
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)  2023 東京都

新型コロナウイルス感染症

※令和5年5月8日より定点把握対象疾患に移行しました。



Topics

インフルエンザが流行しています

インフルエンザは例年12月から3月にかけて流行しますが、今年はインフルエンザ患者の増加時期が2～3か月ほど早く、早期からの流行に警戒が必要です。また、10月からのワクチン接種時期より早いタイミングでの流行開始のため、感染拡大しやすく、一人ひとりの感染防止対策が重要になります。

【インフルエンザにかからないためにできること】

インフルエンザは、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により感染します。

①着用が効果的な場面でのマスク着用

人混みに行く時や会話をする時、咳・くしゃみが出る時にはマスクを着用しましょう。

②手洗い・消毒

外出後、咳やくしゃみを手で覆った時など、流水・石鹸でこまめに手を洗いましょう。

③換気

空気の取り入れ口と出口ができるだけ対角線となるように窓を開けるなどの工夫をしましょう。

④予防接種

インフルエンザワクチンは、感染をしても発病を予防する効果があり、発症した場合は重症化防止に有効と報告されています。

【インフルエンザにかかったら】

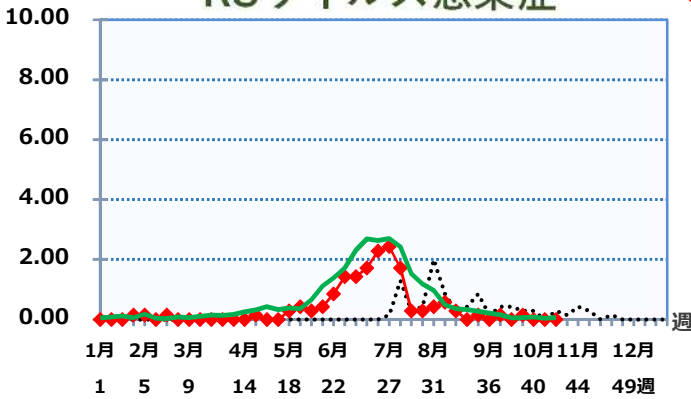
発熱等のインフルエンザを疑う症状がみられる場合は、感染拡大防止のため、事前に医療機関に連絡をしたうえで早めに受診をしましょう。

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2022 北区
 ◆ 2023 北区
 — 2023 東京都

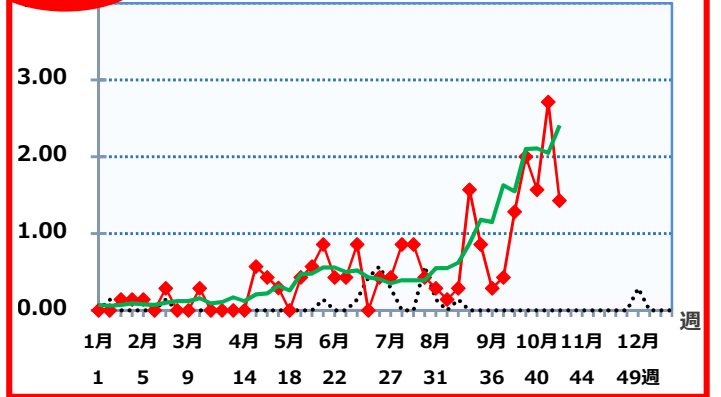
RSウイルス感染症



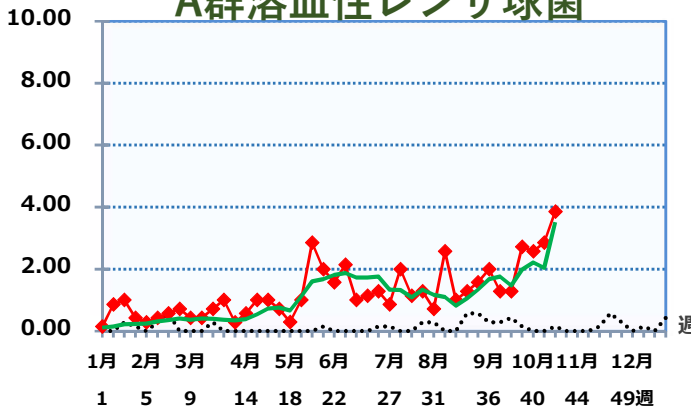
警報

警報レベルが続いており、注意が必要です。

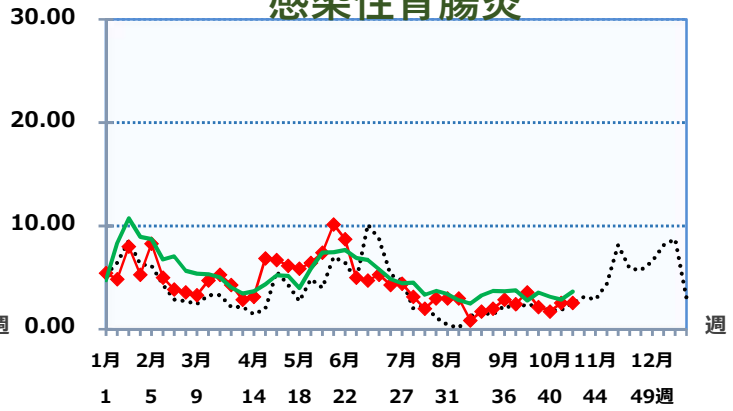
咽頭結膜熱



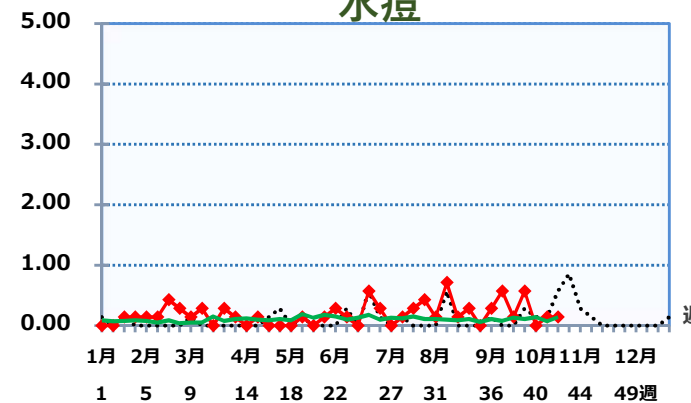
A群溶血性レンサ球菌



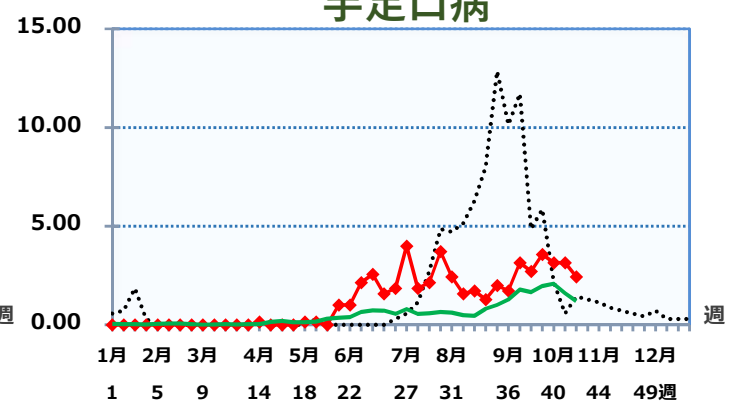
感染性胃腸炎



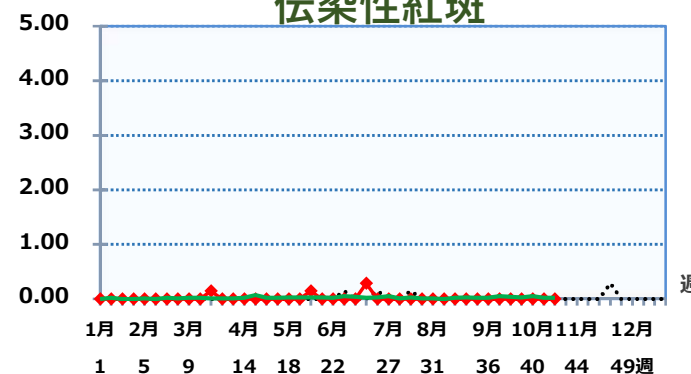
水痘



手足口病



伝染性紅斑



突発性発しん

